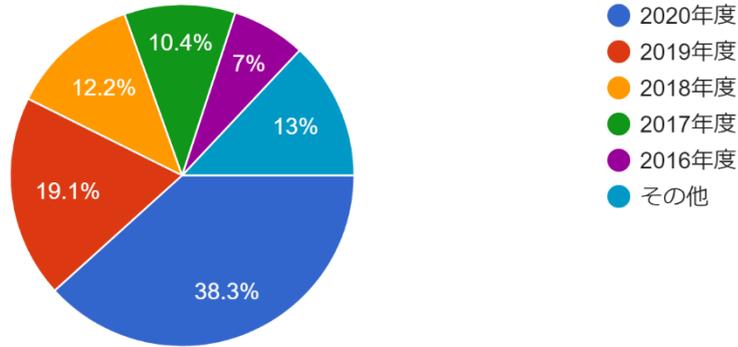


# 2024年度 大学教育に関する既卒者からの意見聴取のまとめ

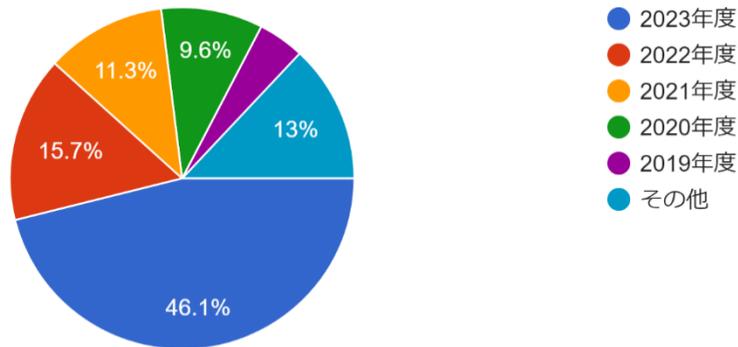
実施期間：2024年8月～9月 有効回答数：115件

## 1. 基本属性

### (1) 入学年度



### (2) 卒業年度

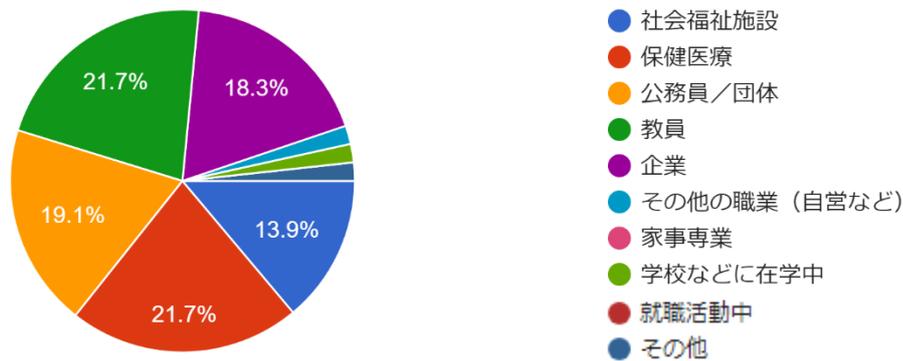


### (3) 最終年度に所属していた学科



## 2. 現在の職業等

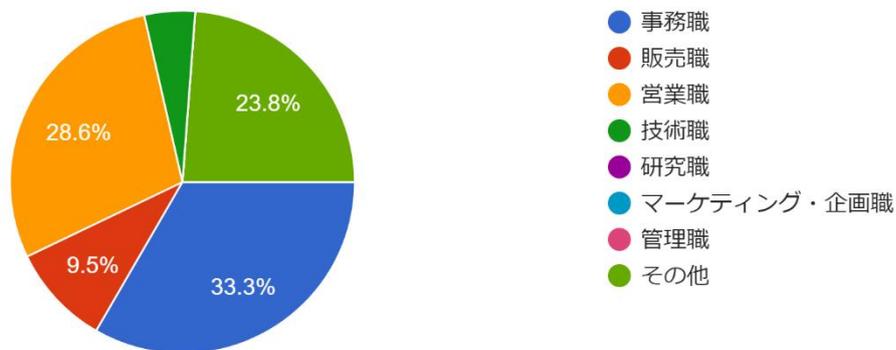
### (1) 業種等



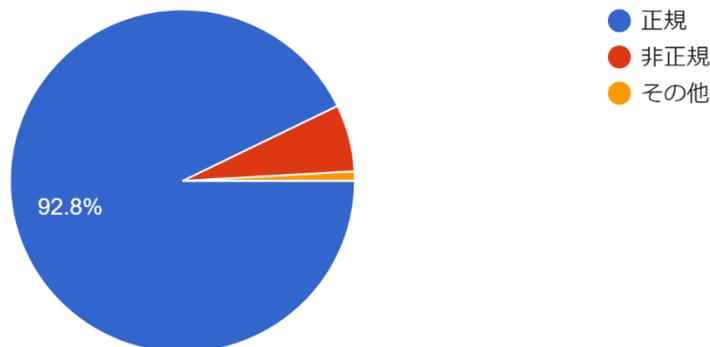
### (2) 「社会福祉施設」に勤務する方の施設種



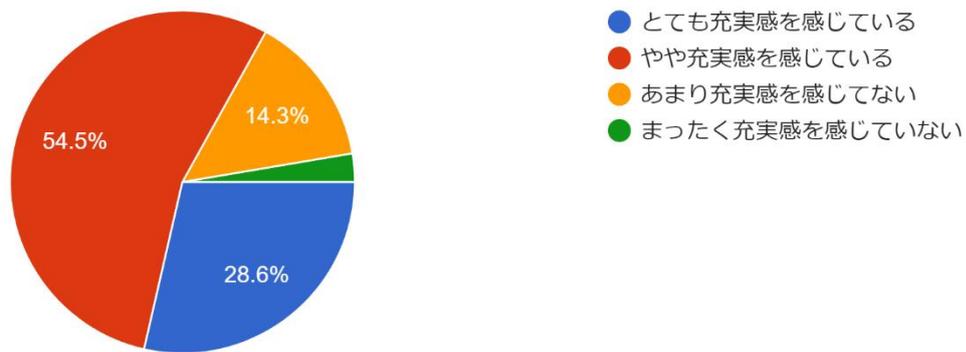
### (3) 「企業」に勤務する方の職種



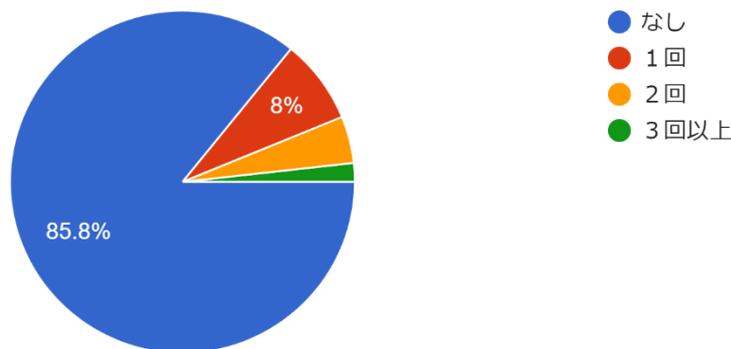
### (4) 就業形態



(5) 現在の仕事に関する全体的な充実感

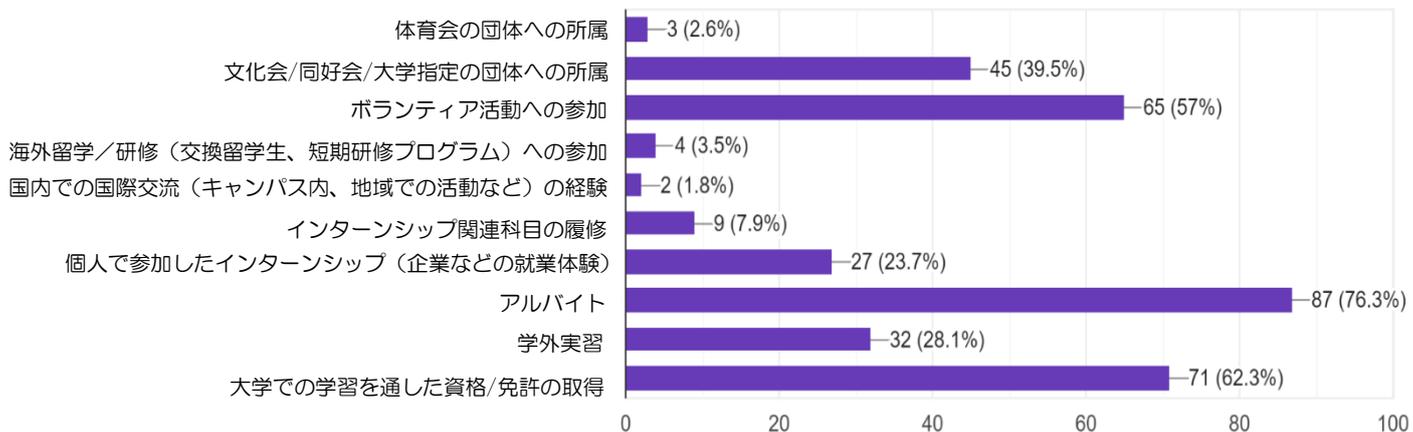


(6) 離職の経験

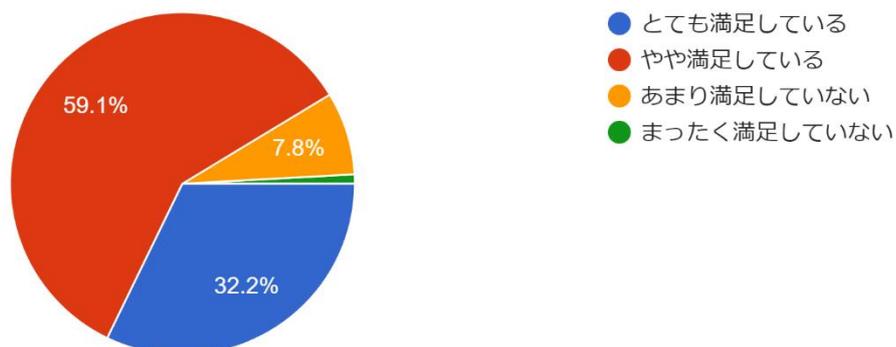


3. 東北福祉大学在学中の学びと活動体験（経験）について

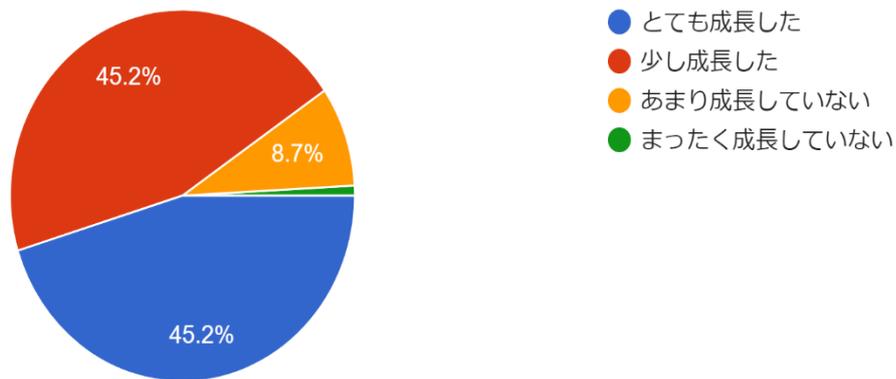
(1) 授業履修等以外の在学中の活動（複数回答可）



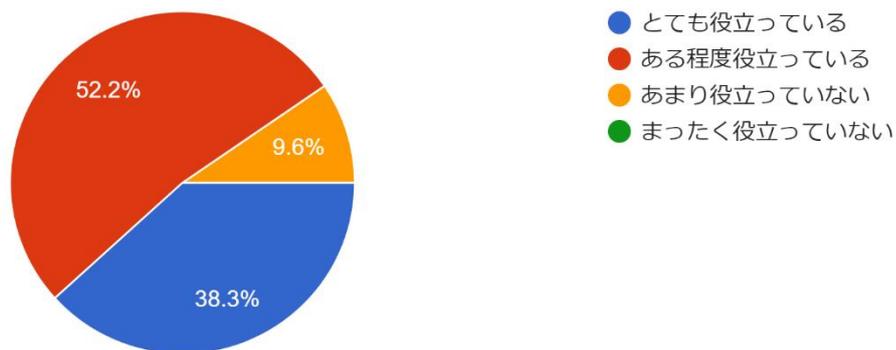
(2) 在学中の大学生活への満足度



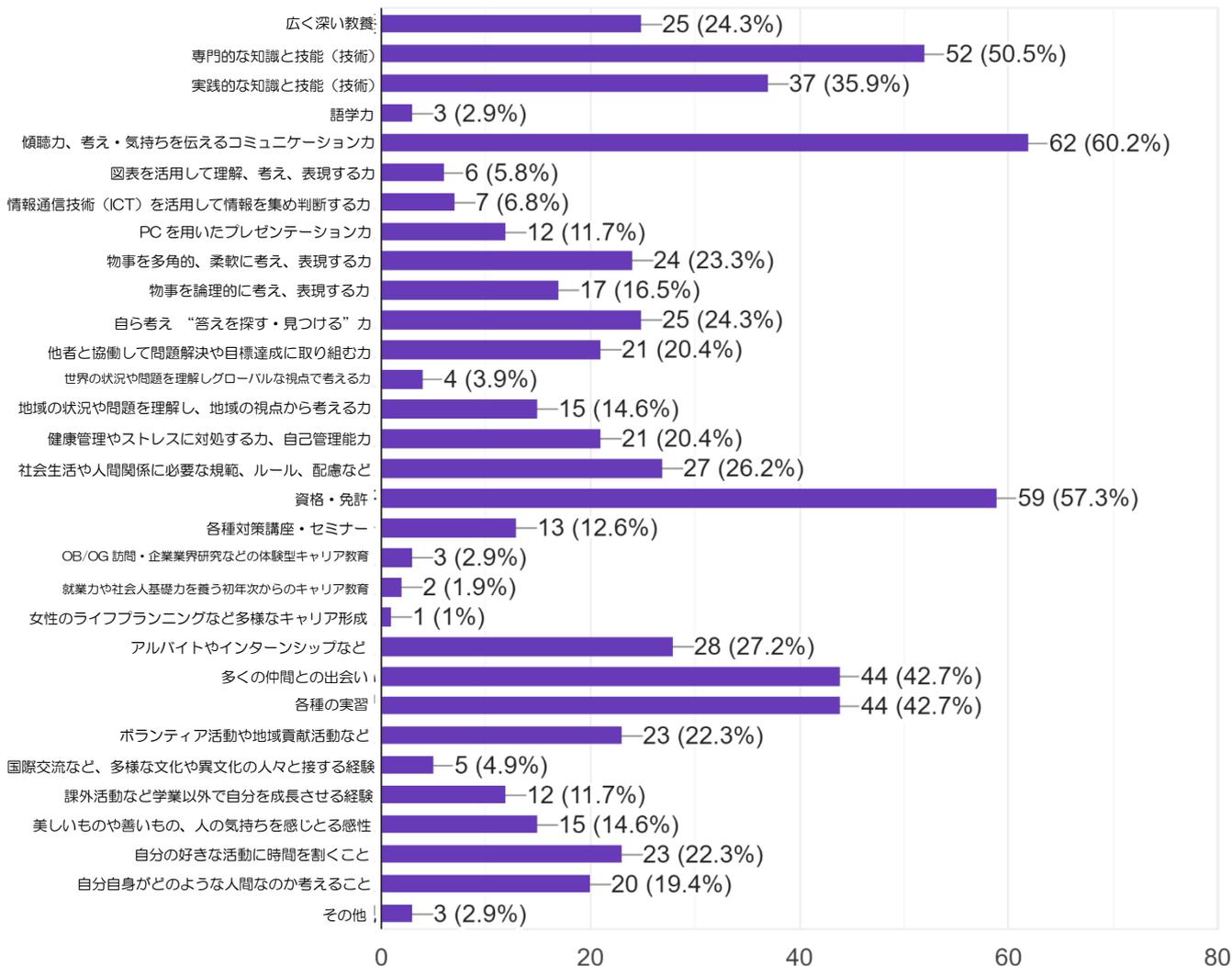
(3) 在学中の学びと経験を通じた成長実感



(4) 社会生活やキャリア形成への影響（大学での学びや活動体験・経験）



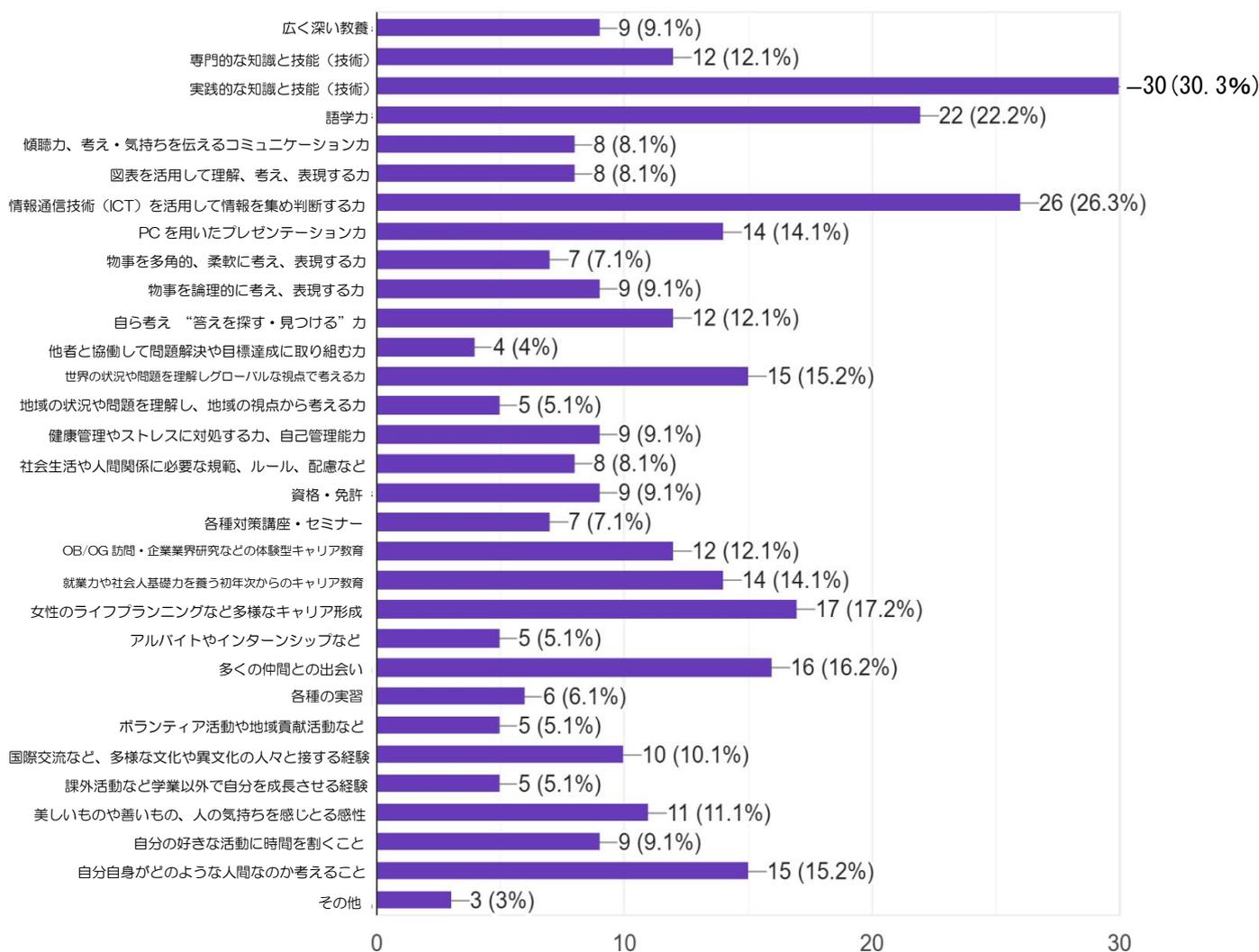
(5) 社会生活やキャリア形成へ役立った学びや経験の内容（複数回答可）



<その他 3 件の回答（自由記載の原文を要約）>

- ・多くの人と関わることで、多角的な視野と、色々な意見への寛容性を得られた。
- ・東日本大震災のときに在学中でした。現在は自治体職員として宮城県外で勤務していますが、震災時に感じたことを風化させずに業務に取り組んでいます。
- ・理不尽なことに耐える力がついた。

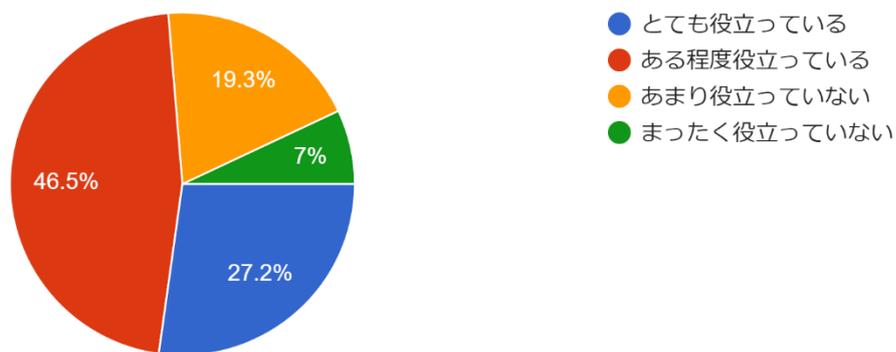
(6) 在学中の学習・経験の中で「足りなかった」「大学からの支援としてもっと力を入れてほしかった」と思うこと（複数回答可）



<その他 4 件の回答（自由記載の原文を要約）>

- ・PCの扱いや、大学設備の利用など、そこにはあるけれど使えていない、使い方がわからない、というものが多く存在した
- ・コロナ禍で課外活動が制限され、想像していたほど満足な経験とは言えなかった。
- ・充分だったと思っています。コロナ禍での資格実習もありましたが、最大限考えていただき感謝しています。学内、学外問わずアルバイトの紹介（大学によるフィルタリングでトラブルを防止し安心安全を確保してアルバイトに従事するのが目的です。）
- ・お昼寝ができる仮眠室のような部屋があるといいのかなとも思いました。

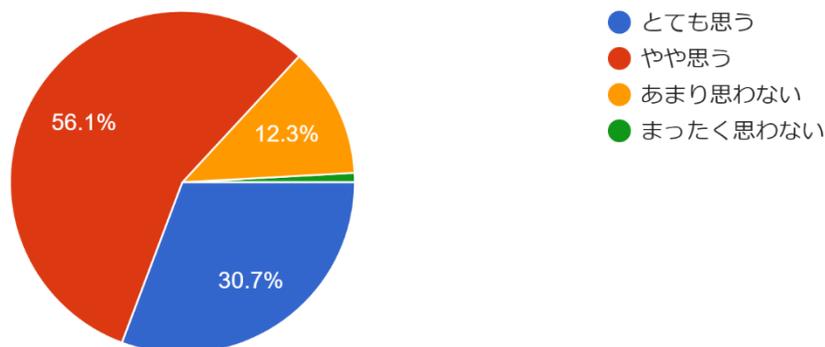
(7) 東北福祉大学で得た人とのつながりや人脈が卒後の社会生活やキャリア形成に役立っているか



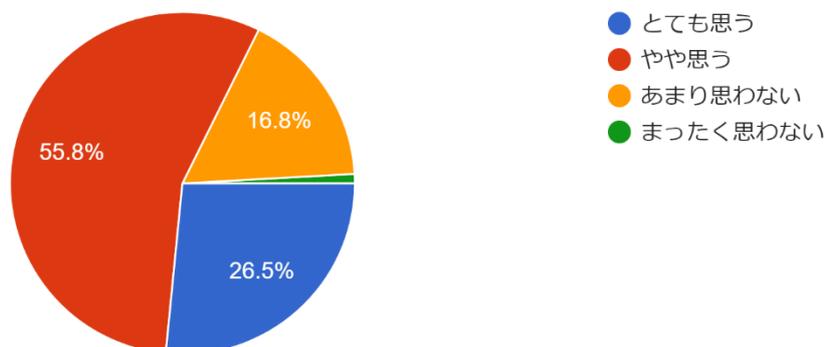
(8) 役立っている場合、どのような人とのつながりや人脈か（自由記述より抜粋・要約）。

- ・大学で出会った友人（何かあれば相談できる相手）。
- ・大学の恩師（専門職として働く上で困った際に相談できる存在）。
- ・先輩が同じ職場にいることで働きやすかった。
- ・ゼミの仲間、アルバイトでの出会い、ボランティア先でのかかわり。
- ・課外活動で関わった仲間。
- ・行き詰まった時に、ヒントをくれる、一緒に考えてくれる人と出会えた。

(9) 東北福祉大学に在学したことを誇りに思うか



(10) 大学進学を希望する方に、東北福祉大学を勧めたいと思うか



(11) 東北福祉大学の今後の教育・活動について、具体的な改善内容や要望（自由記述より抜粋・要約）

- ・学校内の施設利用をもっと推奨、紹介して欲しい。
- ・国からの補助金や学生からの授業料があつての大学なので、学費がどのように活用されているのか明らかにするなど、法令順守のうえ透明性のあるガバナンスを求めます。

- ・どのコースに行くと、どんな資格が取れるかを明確にしてもらえると嬉しい。
- ・大学で学ばなかったことが仕事（教員）をしているとどんどん出てくるので、資料や文書の作成の仕方や通知票の書き方など、専門的で実践的なことが学べると良いと思う。
- ・現場で働く上で必ず必要になる作業など、在学中には実習以外で触れる機会がなかったので、より実践的な学習が増えたら嬉しい。
- ・運動部にも力を入れているのは理解するが、福祉大卒を謳うならば、それなりに専門的知識を身に付けてほしい。
- ・どんなことでも相談できる部署があると良い。
- ・実習を3年次までに全て終えるようなカリキュラムにならないか。採用試験の面接で、面接官が4年次まで実習が続く東北福祉大学の実情に大変驚かされていた。

#### 4. 卒後支援のあり方について

支援やサービスの内容について、現在および今後必要なことや改善点、より効果的に進めていく上で必要とお考えのことなど（自由記述を要約）

- ・同窓会の充実。参加して思うのは参加者が定年者を含む高齢層中心なので、お世話になった先生と再開できるなど、若年層も参加したくなるような企画があれば幸いです。
- ・簡潔な手続きで在籍学生をボランティアに呼べると良い。
- ・在籍生に、就職活動の重要性をもっと強く言うべきであると感じた。
- ・仙台付近での転職情報や物件の情報提供。
- ・各種研修の紹介。
- ・ゼミ担当以外の先生方の連絡先（大学メール）を卒業生に公開して、困難に直面した時に相談できるようにしていただくとありがたいです。
- ・卒業後のキャリア支援の場や学びの場、卒業生の交流の場を設けてほしい。
- ・卒業後の転職の際も支援してくれるのはとても良い。障害者雇用等の支援も充実すると良いのではないかと思います。
- ・今回のようなアンケートの実施は大変評価できる。大学との距離感がある方々も含めた現状把握やニーズ把握を期待します。
- ・学び直しや振り返りができるような、気軽に参加できる機会があれば嬉しいです。
- ・コミュニケーションゼミ